

1. 開催概要

○目的：各ブロックの団体間の相互交流や他団体の活動事例の紹介を通じ、地域における団体の活動を活性化する。

○日程：

関東・甲信越ブロック	令和4年12月13日（火）	14：30～16：30
東海・近畿・中国・四国ブロック	令和5年1月12日（木）	14：00～16：00
北海道・東北・北陸ブロック	令和5年1月20日（金）	10：00～12：00
九州・沖縄ブロック	令和5年1月20日（金）	14：00～16：00

○開催方法：oVice（バーチャルオフィスツール）を使用

○参加団体：ネットワーク登録団体、建設業団体、国土交通省、（一財）建設業振興基金

○参加人数：

関東・甲信越ブロック	34人
東海・近畿・中国・四国ブロック	52人
北海道・東北・北陸ブロック	25人
九州・沖縄ブロック	22人

2. 実施内容

《議事》

- (1) 建設産業女性定着支援ネットワークの取組み状況
→事務局より説明。CCUSを活用した女性の就業継続についても制作した事例集を用いて紹介。
- (2) 建設キャリアアップシステム（CCUS）の取組み紹介
→（一財）建設業振興基金 建設キャリアアップシステム事業本部普及促進部 川浪部長より
CCUSの概要や基本的な仕組み、「CCUS応援団」の取組みなどについて説明。
- (3) 登録団体の取組み紹介
→以下団体から、取組についての紹介。

取組み発表団体

- 関東・甲信越ブロック：建築設備六団体協議会 設備女子支援ネットワーク、
日本建築仕上学会 女性ネットワークの会、（一財）建設物価調査会 チームひまわり
- 東海・近畿・中国・四国ブロック：建設ディレクターネットワーク、（一社）女性技能者協会
- 北海道・東北・北陸ブロック：（一社）宮城県建設業協会 宮城建設女性の会2015、にいがた土木女子会議、
（一社）石川県建設業協会 百万石小町『結』
- 九州・沖縄ブロック：矢部川女性技術者の会、teamけんせつ美ら小町

- (4) グループ意見交換会
→参加団体を2つのグループに分け、以下テーマに沿って意見交換を実施。
<テーマ>
各団体で取り組んでいること、取り組んでみたいことや
建設産業女性定着支援ネットワークに期待することについて

3. グループ意見交換会における各団体からの声

<テーマ>

各団体で取り組んでいること、取り組んでみたいことや
建設産業女性定着支援ネットワーク（以下、NW）に期待することについて

各団体で工夫して取り組んでいることや今後取り組んでみたいこと、苦労していること等について
話し合った結果、以下のような声がありました。

<若年者向けの取組について>

- ・小中学生向けの現場見学会やイベントなど行っているが、その際女性が前に出て話すということは（特に中学生に）良い感触を持ってもらっている。
- ・「女性＋若手」への働きかけをセットにして取組みたい。
- ・進路を決める前のきっかけ作りとして、小学校高学年や中学生を対象とした現場見学会を実施したい。
- ・若者や他の業界の方にも建設業を知ってもらうためには、SNSの活用は有効であると考えられる。

<取組を進めるうえでの課題や今後の取組等について>

- ・会費のみで活動資金を賄うのは難しく、活動資金が課題。
- ・現場見学会などの企画を立てた後、広報をどう行うかが課題。
- ・今後は男性も巻き込んだ活動をしていきたい。また、ジェンダーレスにどう対応していくか、トイレや更衣室などのハード面の整備を中心に考えていきたい。
- ・キャリアから一度離れてしまうと戻ってくるのが難しい業界だが、CCUSは復職を可能にする仕組みだと思ふ。
- ・性別も年齢も関係なく、様々な個性の技能者の活躍を広めていきたい。
- ・経営者層の女性定着に関する活動への理解を深めるため、経営者層との意見交換会を行いたい。

<NWに期待すること>

- ・今後も団体間で情報共有が出来る場を提供してほしい。
- ・NWの繋がりを利用して他団体と一緒に活動したいと考えているので、その際はNW事務局にもサポートして欲しい。